

“

カード・ダイアログ

ちいさな対話の場をつくる。

カード・ダイアローグの特徴

- ・ 少人数(4~5人)を想定
- ・ ファシリテーターがいなくても対話が成立する
- ・ 書く / 話す / 聞く を行ったり来たりすることで、内省 / 発散のモードがちょうどよく保たれる
- ・ 一人一人が十分語り / 聞くことができる

カード・ダイアログで 考える対話の条件

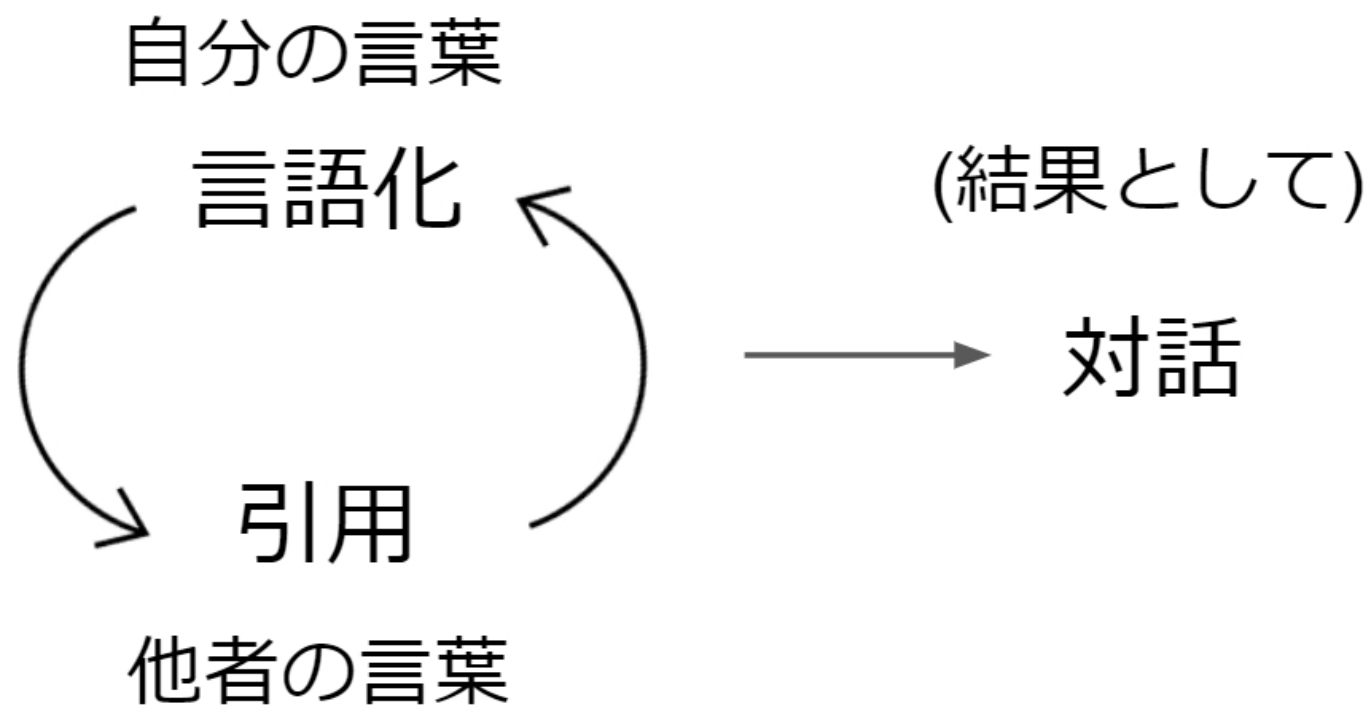
- トーンが揃っていること
- 「話す、聞く、考える」に集中できること
- フラットな関係性であること
- 互いに「引用」ができること

実現したいこと

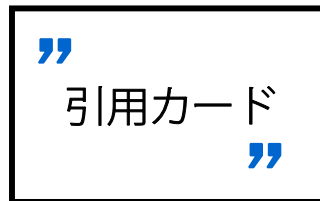
自分の言葉の言語化

場の共通言語

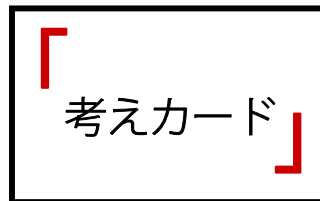




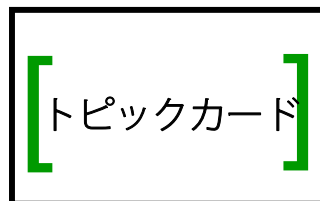
カードは3種類



本の引用や、誰かの発言など
「他者の考え」を書きます。



思ったことや考えたことなど
「自分の考え」を書きます。



話をする時のトピックや議題を
書いたり、後でカードをまとめる
時の見出しや表紙に使います

カード・ダイアローグは、

- ・カードで話をする(進行)
- ・話をカードにする(引用・リフレクティング・記録)

の両方もしくは片方だけ使うことができます。

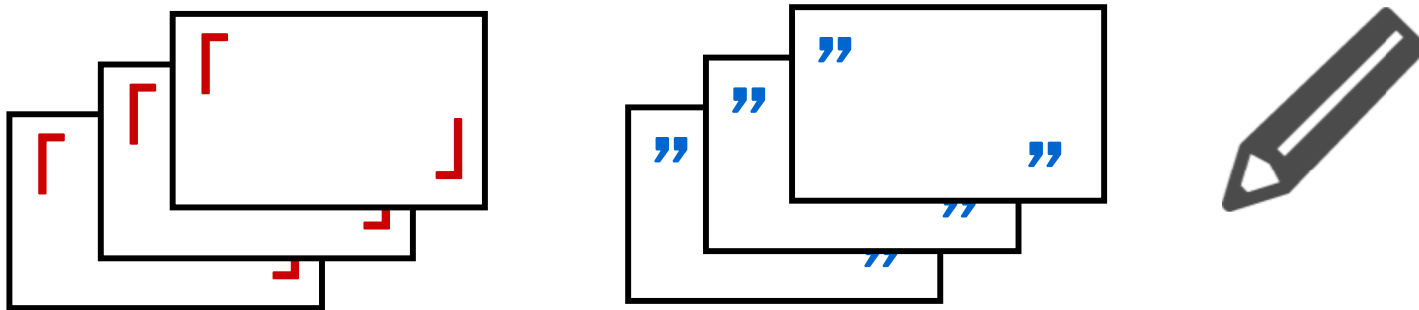
カードで話をする

カードを全員で進行に使います。

話をする会、読書会など

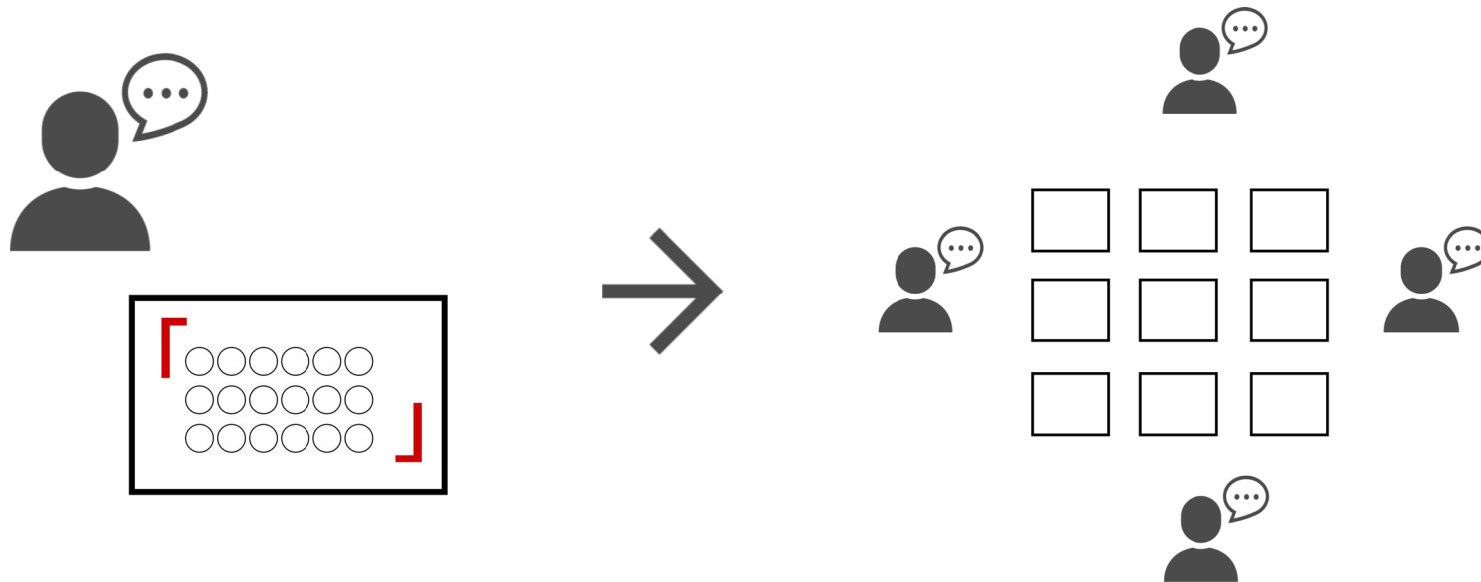
ちょっと考えてから、話そう

考えたことを、自分の考えと引用(他者の考え)を区別してカードに書きます。



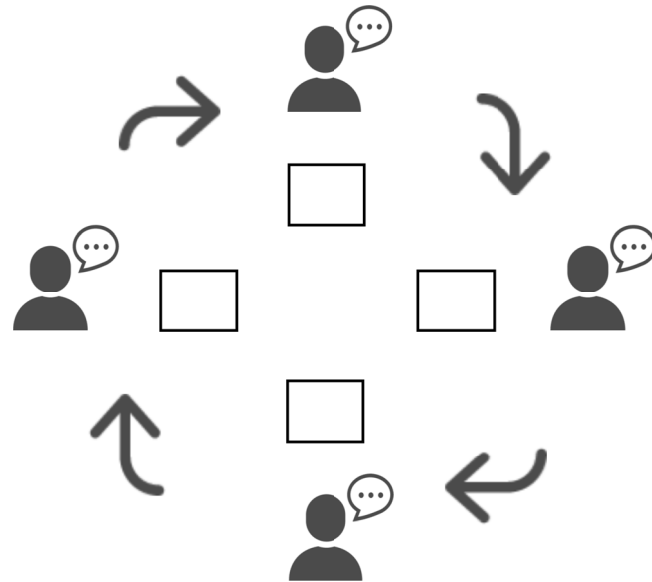
ことばをテーブルに乗せよう

カードを見せながら話し、カードはテーブルに置いていきます。



話すのは1人、みんなで聞く

カードを読み上げる→他の人がコメントするを繰り返します



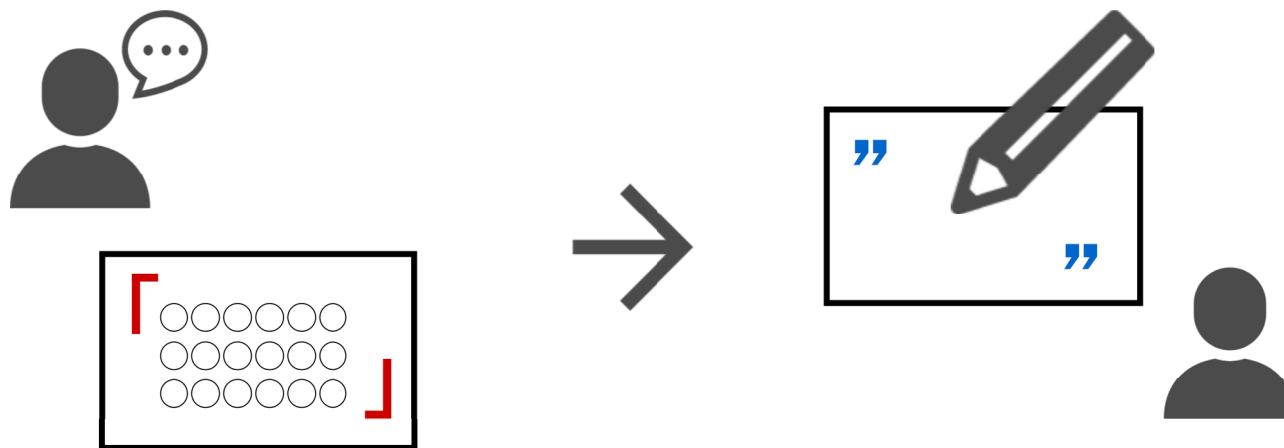
話をカードにする

カードを引用・リフレクティング・記録に
使います。1人だけの使用も可能。

会議、哲学カフェ、トークの記録など

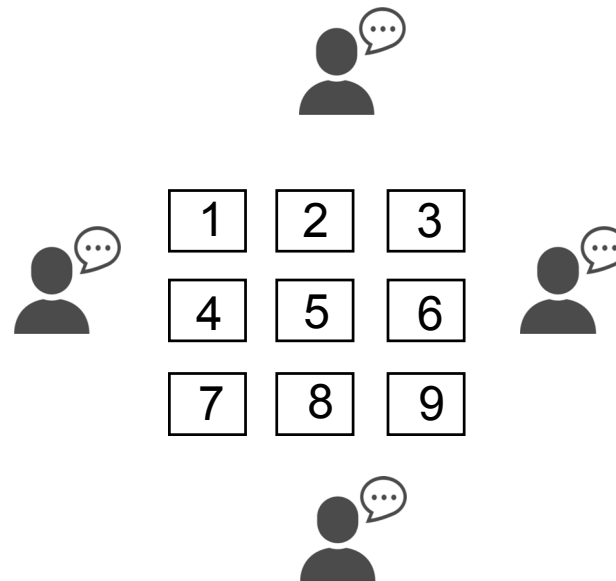
他者の発言も引用しよう

発言やコメントの中で気になる言葉があれば、引用カードを書いてテーブルに。



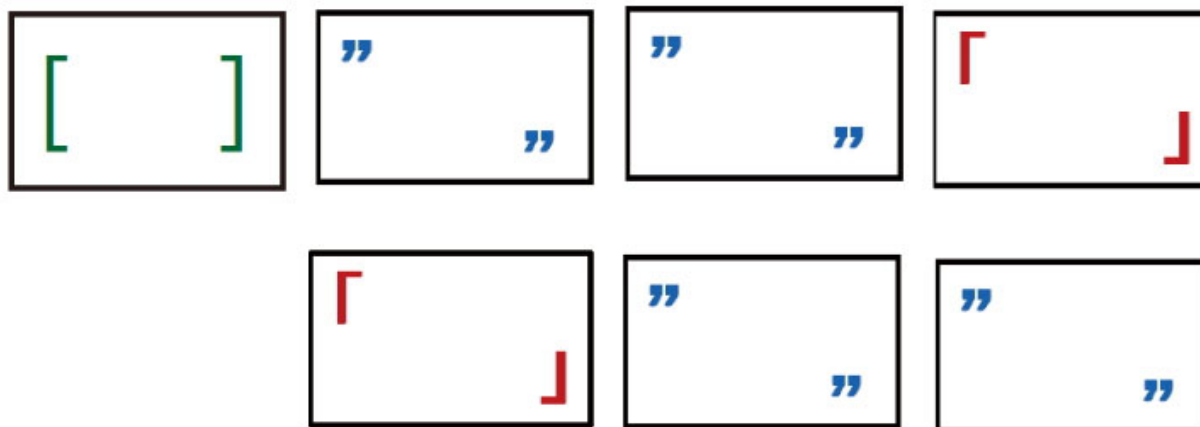
リフレクティング(話についての話)をしよう

カードを時系列に並べ、これまで何の話をしたか最後に確認しよう。



記録し共有しよう

時系列に並べたカードは、写真などで記録し、参加者がいつでも話したことを思い出せるようにしよう。



使い方

読書会・お話の会

テーマに沿った話をしやすくなります。

少人数会議

発言しやすくなり、
皆の意見を俯瞰して見ることができます。

映画・芸術鑑賞・講演のアフタートーク

参加者同士の対話をすることで、より鑑賞体験を豊かに。

利用例

詳しくはwebで!

専門書の読書会

ソーシャル・ワーカーや作業療法士などが、「ケアの本質 読書会」という専門書を読む会を、10回シリーズで開催されています。

就労支援施設でのプログラム

TV番組を観るプログラム内で、感想を言い話をするために、カードを使っていただきました。

プロジェクトの会議

アートプロジェクトの方針決定会議に制作者が参加し、話を引用・カード化し、カードから更に議論を深めていただきました。

カード・ダイアログ <http://dialogue.mogubook.net/>
カードや説明書のPDFがダウンロードできます。

組織内、友人同士の非公開の会ではご自由に使っていただけます。

公開イベントなどでのご利用の際は、告知文に

- ・カード・ダイアログを利用すること
- ・当サイトのURL <http://dialogue.mogubook.net/> の掲示をお願いします。

どのようにに使っていただけたか後日レポートいただけますと嬉しいです。



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。

2010年からmogu bookという本を介した少人数の対話の会を続けて、言語化と対話と媒介的なコミュニケーションについて考えてきました。

カード・ダイアローグは、mogu bookで生み出した方法論を、本以外でも使えるようにしたものです。

mogu book

ひとりで読む。みんなで読む。またひとりで読む。

サトウアヤコ
mogubook@gmail.com
<http://mogubook.net/>